



熊本地震石綿ボランティア調査について



熊本地震被災地へのご支援に感謝いたし御礼申し上げます。



熊本地震石綿ボランティア調査活動

- ・4月27日・28日・30日
熊本県とともに、益城町中心部及び益城町周辺部調査
- ・5月2日
熊本県・熊本市とともに、熊本市東部(益城近郊)調査
- ・5月3日
熊本市とともに、熊本市東部調査
- ・5月6日
熊本市とともに、熊本市中央区調査
- ・5月10日
熊本県とともに、益城町調査
(アスベストアナライザーを用いて、アスベスト含有の有無を簡易判定)
- ・5月11日～13日 (11日から13日の3日間で約400か所の建物調査)
熊本市とともに、熊本市中心部調査(防火地域・準防火地域)
熊本県とともに、宇城市方面調査
(アスベストアナライザーを用いて、アスベスト含有の有無を簡易判定)
- ・6月、7月、8月自主パトロール
銀座通りNSビル定点観測
- ・7月21日
熊本県熊本労働基準監督署とともに、益城町調査
(アスベストアナライザーを用いて、アスベスト含有の有無を簡易判定)



4月27日・28日・30日

熊本県とともに、益城町中心部及び益城町周辺部調査



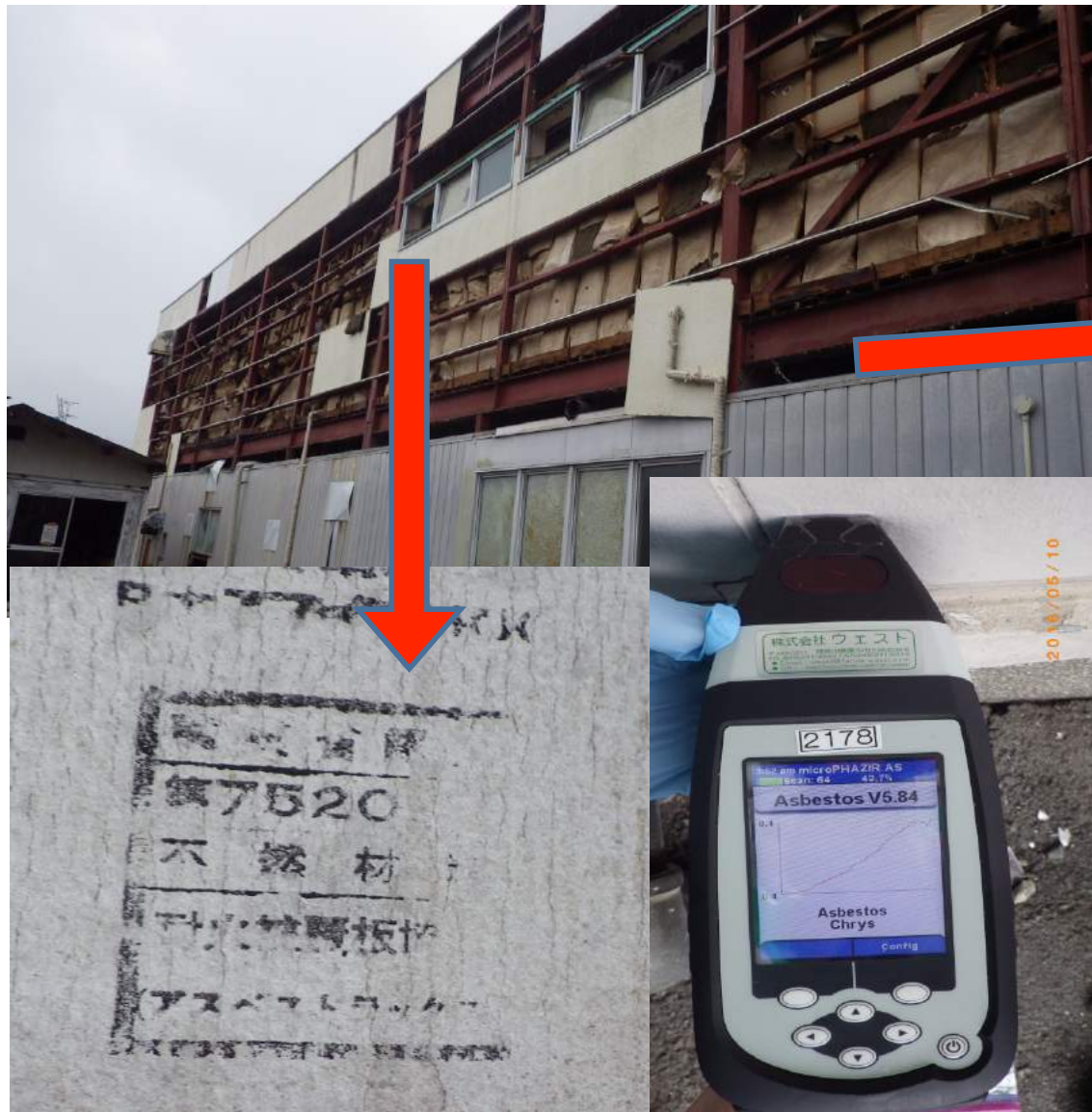
「屋台商店街」益城町23店“団結”と銘打って黒潮市場前は多くに人が集まる場所に？

5月4日

合志市災害瓦礫集積場



5月10日益城町調査 (アスベストアナライザーを用いて、アスベスト含有の有無を簡易判定)



外壁:アスベストラックス

クリソタイル含有



梁下に吹付ロックウール



アモサイト・クロシドライト含有



一般社団法人 日本アスベスト調査診断協会

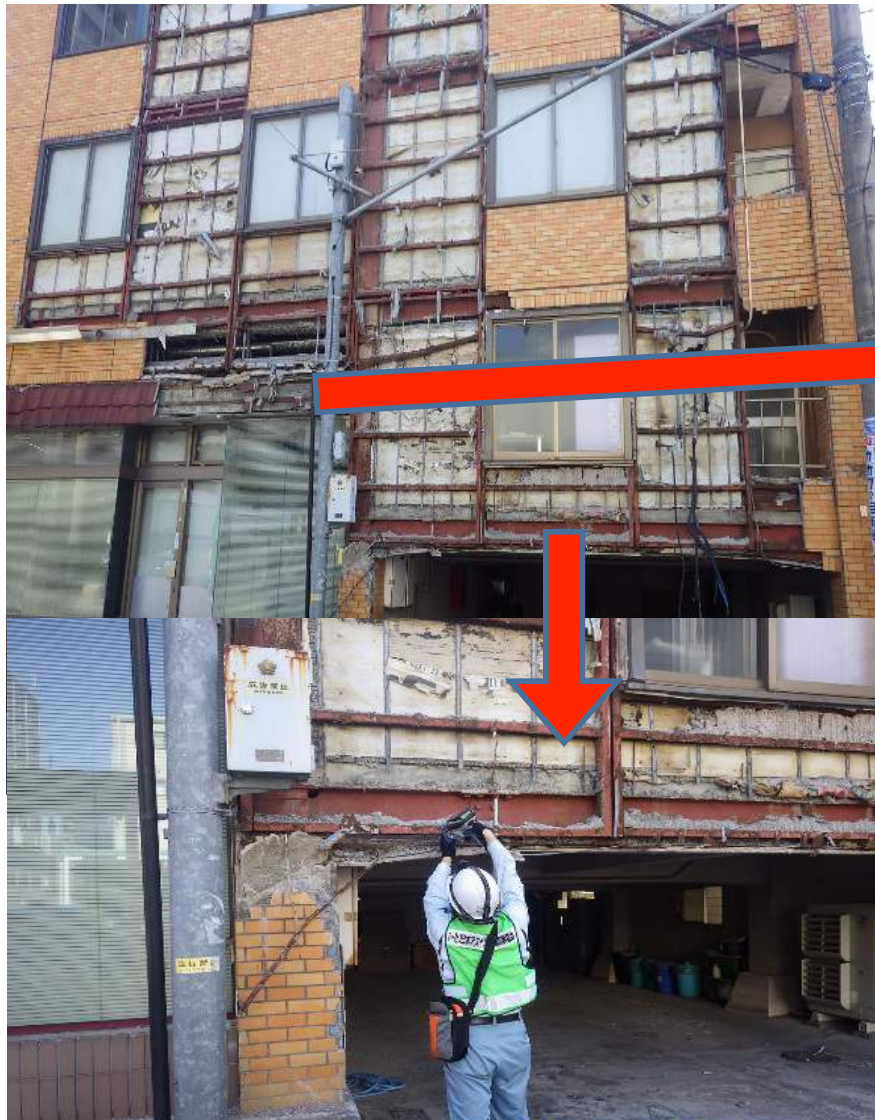
熊本中心市街地の調査の手順

熊本市中心市街地の防火地域・準防火地域に指定されている地域において、応急危険度判定で、黄色又は赤色と判定された建物を主に調査

1. 建物の構造（RC造・SRC造・S造・木造）の確認
2. 建物の破損状況の確認
3. 吹付アスベストや吹付ロックウール等が使用されていればその破損状況を確認
4. アスベストアナライザーで簡易判定
5. アスベスト含有の場合ファイバーモニターで飛散状況の測定

5月11日～13日熊本市中心部(防火地域・準防火地域)調査①

(11日から13日の3日間で約400か所の建物調査)



アスベストアナライザーで簡易判定



外壁が落下して
吹付ロックウールが露出



not found (無含有)



一般社団法人 日本アスベスト調査診断協会

5月11日～13日熊本市中心部(防火地域・準防火地域)調査⑤



駐車場天井・梁の
吹付ロックウール

アスベストアナライザーで簡易判定
(クリソタイル含有)



ファイバーモニター
を設置して繊維の
飛散状況の調査

1分間の計測で
繊維の飛散は無



「熊本市においてアスベスト飛散・暴露への懸念」 熊本市長 大西一史様からのお尋ねについて

災害時のアスベスト対策実施の困難性について

※人命救助が最優先になる。（分別解体・除去してる時間がない）

※復旧・復興が最優先になる。

（アスベストをまともに取り扱っている時間など無い？）

※被災建物の応急危険度判定 と 立ち入り 禁止措置がなされていない。

（敷地への侵入不可 ）

※調査権限（資格）がない。（個人所有のため行政にもない）

※被災建物・敷地内のある程度形を残した成形板等・汚泥同様になったガレキ、分類可能レベルを確定できない。

※被災建物の調査図面がない、所有者不明。（施工年代の特定が難しい）

※被災軒数が多い。

※意図的にアスベストを隠している現場を探し出すのは困難である。

（平常時に立ち入り 調査を行えばハザードマップに 織り込める）



熊本市内での目視による、アスベスト アナライザを活用した アスベスト飛散状況の確認について

状況 1 倒壊 ・ 破損した 建築物等から、風などの影響による
石綿飛散の恐れがある。

状況 2 復興活動における、建物解体時 ・ 改修時 ・ 瓦礫処分による
石綿飛散のおそれがある。

状況 3 災害瓦礫の片付け等の支援者、瓦礫仮置き場の交通誘導員などの
被災地ボランティア（高校生ボランティア含む）が飛散し
た石綿暴露の被害にあう危険性がある。
（マスク装着などの乗り込み時教育の必要性）



留意事項

①国・自治体・企業・住民等がアスベストの危険性と対策の**重要性を再認識**する。

②災害応急時における対策

- ・復旧作業従事者へ乗り込み研修（現地の状況・復興支援体制・マスクなどの安全面）
- ・マスクの装着研修（フィットテスト完全実施）
- ・現場からアスベストを持ち帰らないよう、家庭内暴露の防止の徹底
- ・吹付けアスベスト使用建物の実態調査、把握の徹底

③災害復興時における対策

- ・アスベスト使用建物（吹付け石綿・成形板・保温材等）の実態調査・実情把握
- ・アスベスト含有建材のある建物の解体・除去工法安全確認
- ・解体工事等における飛散防止対策と廃棄物対策の徹底
- ・石綿則に遵守した呼吸用保護具の着用とひげを剃ることの徹底
- ・水・飛散抑制剤による徹底的な湿潤化の実施
- ・現場からアスベストを持ち帰らないよう、家庭内暴露の防止の徹底
- ・作業着と通勤着を着分ける

④今後の対策（応急から復興に向けて）

- ・アスベスト問題に総合的に調査し、対策を立案・検討する**機関の設置**
- ・地域防災計画に震災時のアスベスト対策の明記と確実な実行

一般社団法人日本アスベスト 調査診断協会は、全力を挙げて

「熊本地震被災地でのアスベスト 対策への支援を行います。」

熊本地震アスベスト調査ボランティア後の被災地における解体状況など(銀座通りNSビル定点観測)

隔離養生前の天井撤去(法的にも間違い)



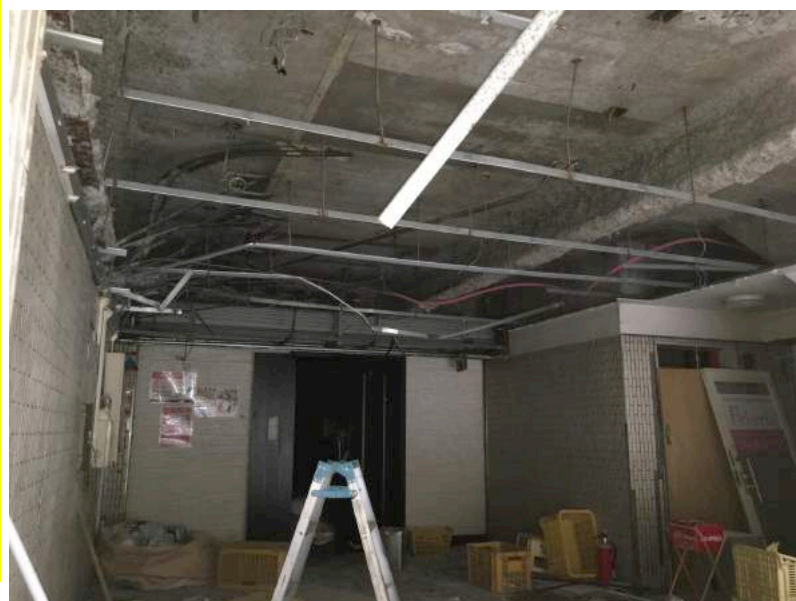
この状況でお知らせ看板無し

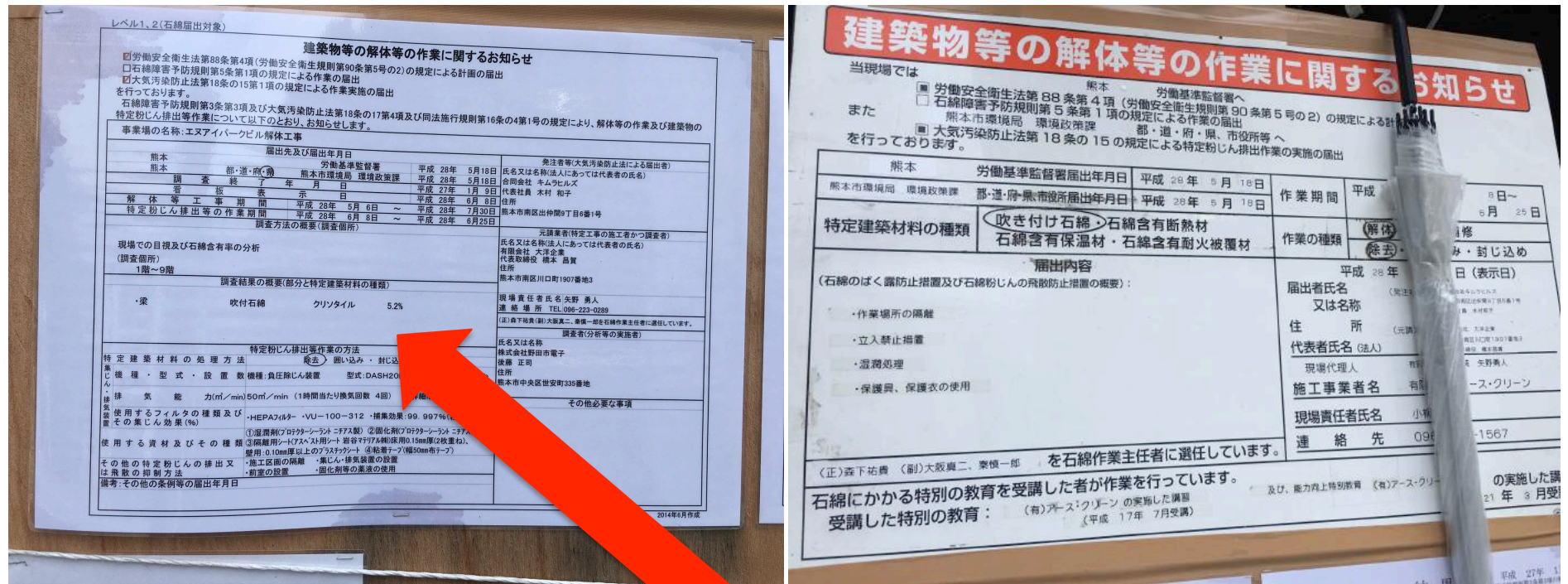
熊本市内を歩いていると突然天井を解体している現場に出くわした。

お！ロックウールじゃないか！

熊本市役所環境政策課へすぐに電話して含有物か把握できているかの確認。

把握していますとの返事。すぐさま現場へ直行してもらい労基と共に現場指示。





吹付け石綿！含有率5.2%。これはロックウールじゃない。とんでもない解体方法だ。
熊本労働基準監督署のチェックはどうなっているんだろう。

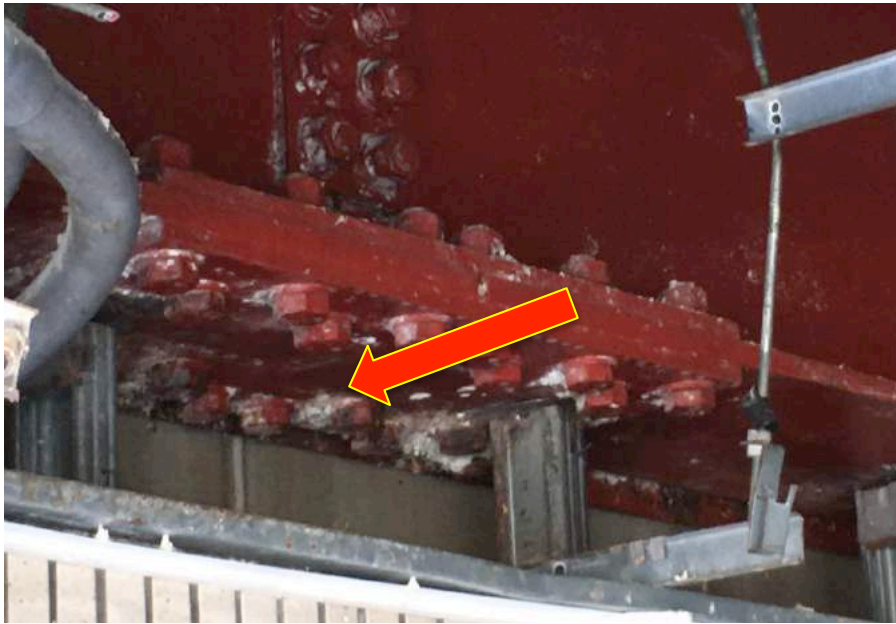
(調査箇所) 1階～9階				代表取締役 住所 熊本市南区
調査結果の概要(部分と特定建築材料の種類)				現場責任者 連絡場 (正)森下祐貴
・梁	吹付石綿	クリソタイル	5.2%	氏名又は名称 株式会社野田電子
特定粉じん排出等作業の方法				

この状態で除去は終わつたらしい。解体前の除去。6月25日までの工事のようである。

熊本地震アスベスト調査ボランティア後の被災地における解体状況など



2016年8月9日久しぶりに現場の前へ、解体前の除去のはずがまだ解体されていない。
1階にはバイクが数台置いてある。除去されたはずの梁のボルト周りを見てみると。
え！吹付け石綿の除去残しが見える。右の梁を確認したら塊で残っている。
やはり、除去工事の完了報告と完了検査を法的に義務付けなければ危険なことになる。
いや、すでに遅い。危険な状態が野放しである。



矢印の先は石綿！



モルタルと梁の付近、梁の各所に塊も見える。
2階位以上の階はどうなっているんであろうか？不安である。
熊本市・労働基準監督署の的確な指示で他の業者へも届くようにしてもらいこれからの復興でアスベストによる新たな犠牲が出ないようにしていただかなければならない。



7月21日熊本地震被災地益城町アスベストパトロール

熊本県・労働基準監督署との同行

お知らせ看板・事前調査の結果？

合同でのパトロールは週一回程

この日はすべての現場で翌日労基へ出頭！

建設物の解体等の作業に関するお知らせ

石綿被害予防対策に関するお知らせ

第1久明緑地解体工事

調査方法
・目視による
・使用建材製造社ホームページ確認による

(調査年月日) 平成28年7月8日

期間 平成28年7月 19日

平成28年 7月19日(表示日)

業者名 (株)カネムラ エコワークス
責任者氏名 吉野 勝俊

建設物の解体等の作業に関するお知らせ

石綿被害予防対策に関するお知らせ

調査方法
・目視による
・使用建材製造社ホームページ確認による

(調査年月日) 平成28年7月8日

期間 平成28年7月 19日

平成28年 7月19日(表示日)

業者名 (株)カネムラ エコワークス
責任者氏名 吉野 勝俊



建設物の解体等の作業に関するお知らせ

石綿被害予防対策に関するお知らせ

調査方法
・目視による
・使用建材製造社ホームページ確認による

(調査年月日) 平成28年7月8日

期間 平成28年7月 19日

平成28年 7月19日(表示日)

業者名 (株)カネムラ エコワークス
責任者氏名 吉野 勝俊

成形板をアスベストアナライザーにて確認！

特別教育の受講者？



益城復興市場・屋台村



新たなアスベスト被害を出さない為に！

この国の未来を守りたい。

(一社) 日本アスベスト調査診断協会